

今日のトピック 米国の債券市場(2015年5月) ドイツ国債に連動し、米国債利回りは上昇

ポイント1 米国債利回りは上昇

ドイツ国債利回り低下の巻き戻しが波及

- 米国債利回りは、4月中旬以降、ドイツ国債利回りに連動して上昇しました。弱めの米国経済指標などの影響は限定的でした。
- ドイツ国債利回りは、景況感の改善や物価上昇によりデフレ懸念が大きく後退したことから、4月中旬以降上昇に転じました。
- ドイツ国債利回りは、欧州中央銀行(ECB)による国債購入、物価見通しの低下、ギリシャ問題を懸念したリスク回避の動きなどからこれまで低下傾向が続いていました。しかし、行き過ぎた動きの巻き戻しが起こり、米国債などに波及しました。

米・ドイツ国債利回りと米社債スプレッド(国債との利回り差)



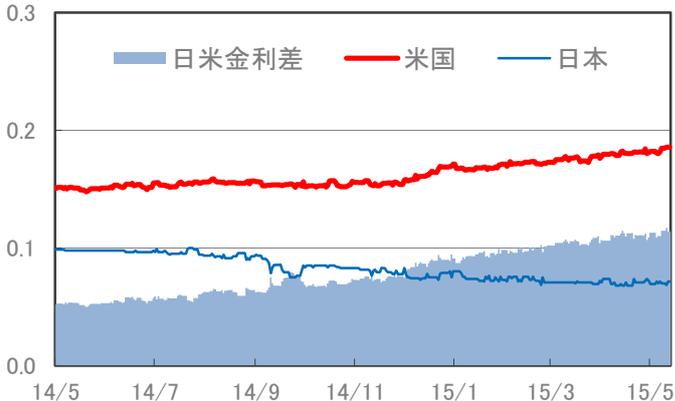
(注1) データは2014年5月1日～2015年5月13日。(年/月)
(注2) 米社債スプレッドはパークレイズ・米国投資適格社債インデックス。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 米社債スプレッドは若干拡大

日米短期金利差は緩やかな拡大傾向

- 米社債スプレッド(国債との利回り差)は、4月中旬以降、若干拡大しました。
- 短期金利の動きをロンドン銀行間取引金利(LIBOR)で見ると、利上げ観測から米国の短期金利は上昇傾向にある一方、日本の金利は低位にとどまったため、日米金利差は拡大傾向が続きました。

日米短期金利と金利差



(注1) データは2014年5月1日～2015年5月13日。(年/月)
(注2) 日米短期金利はロンドン銀行間取引金利(LIBOR)1カ月物。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 米・ドイツの低金利環境継続、債券利回りは徐々に安定へ

- 米国の景気は、雇用の改善が続くことや個人消費の底堅さを背景に、年後半にかけて緩やかに回復しそうです。
- 米国の金融政策は、利上げペースは緩やかにとどまり、低金利環境継続が予想されます。
- ドイツ国債利回りは、ECBの国債購入が物価見通しの達成が見通せるまで継続される見込みか

ら、徐々に安定すると見られます。米国の物価見通しも落ち着いていることから、米国債利回りもドイツにつれ徐々に落ち着き、上昇は緩やかにとどまると見込まれます。

- 米社債スプレッドは、主要米国企業の底堅い業績や慎重な財務運営、社債の相対的な高利回りなどから、今後も安定的に推移しそうです。

ここも チェック!

2015年05月13日 主要国のリート市場の最近の動向(4月)

2015年04月30日 米国の金融政策(2015年4月) FOMC声明の景気判断は下方修正

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。